

- ☆政策フォーラム
- ☆政策フォーラム 分科会
- ☆「オルガナイザー研修会(養成・実践)
- ☆2023春季生活闘争 第6回集計結果
- ☆青年委員会「国会見学」/2023平和集会
- ☆メンタルヘルス研修会(応用)/女性のためのSTEPUPセミナー
- ☆既卒3年以内及び34歳以下の若者対象就職面接会/7月の行動日程
- ☆あけぼのビル

2023年度政策フォーラムを開催!

～政策・制度要請内容の実現に向けて～



6月9日(金)、ソニックシティホールにて「2023年度政策フォーラム」を開催しました。当日は、執行部・構成組織・地域協議会役員、推薦議員など120名の参加をいただき、活発な議論がなされました。

午前中は、ジャーナリストの鈴木 哲夫氏を招き、「岸田政権で私たちの働き方はどう変わるのか!」というテーマで講演をいただきました。

鈴木氏からは、

- 岸田政権は主体性がなく、行く末が怖い。
- 第20回統一地方選挙結果は、必ずしも自民党の圧勝ではなかった。
- 解散総選挙について、永田町では解散風が吹いているものの実態がない。また、大義が見当たらない。
- 向こう3年間で増税による国民負担が増大する。

などの内容が述べられ、政治に対して関心を持つことが重要であるとのメッセージが伝えられました。

また、講演の途中では、「永田町の舞台ウラ」や「自公の選挙対立 東京の騒動のウラ事情」などのウラ話もしていただき、参加者からも興味をそそる内容であっ

たなど、高評価の声を数多くいただきました。

そして、午後からは4つのテーマを設定し、分科会をおこない、政策・制度要請を検討する上での抱える課題やめざす方向性などについて議論を深めました。(詳細は2ページ)

今年度も昨年に引き続き、分科会の後半に、パネルディスカッションを取り入れました。パネラーには、講演をいただいた講師の皆様、推薦議員の皆様、構成組織役員の皆様に登壇いただき、それぞれの視点から発言をしていただきました。また、参加者からも多岐にわたる質問や意見がだされ、予定時間を超えて論議がされた分科会もありました。

今後、「政策フォーラム」の内容を踏まえ、「2023年度政策・制度要請」を策定していきますので、皆様のご協力を賜りますようお願いいたします。



鈴木哲夫氏



A分科会の報告をする今井副会長



B分科会の報告をする小林副会長



C分科会の報告をする関口副会長



D分科会の報告をする竹内副会長

2023年度政策フォーラム 分科会

A分科会 テーマ:災害時における防災拠点での性的マイノリティに対する支援を進めるためには!
～性的マイノリティへの支援を進めるために、どのような行動をとるべきなのか～
講 師:東北大学特任研究員 北村 美和子氏

災害時における防災拠点での性的マイノリティに対する支援については、他県の自治体で進められているものの、県内においては、まだまだ不十分であると言わざるを得ない。

本分科会をつうじて「災害時のサポートへの配慮」「地方自治体の防災・危機管理の在り方」などについて、知識を深めるとともにどのような行動をとるべきかについて議論しました。

パネル
ディスカッション

パネラー:東北大学特任研究員 北村 美和子氏
上尾市議会議員 海老原 直矢氏
立憲民主党埼玉県連 ジェンダー平等推進委員長 民部 佳代氏



B分科会 テーマ:デジタルの力で実現する地方創生
～「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指して～
講 師:内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 審議官 内田 幸雄氏

2022年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が取りまとめられました。その戦略は、デジタルの力を活用し、地方の社会課題を解決することで、誰もが便利で快適に暮らせる社会を実現するための国の施策や地方への支援となっています。

講義では、構想の概要や考え、事例が紹介され、パネルディスカッションでは深谷市や埼玉県での取り組みの報告とデジタル活用に向けた議論を深めました。

パネル
ディスカッション

パネラー:内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局 内田 幸雄氏
埼玉県議会議員 白根 大輔氏
深谷市議会議員 福島 秀樹氏
三井金属鉱業銅箔事業部労働組合 菊地 裕次氏



C分科会 テーマ:国や埼玉県で取り組む子育て応援・支援策
～育児休業等に関する制度の概要について～
講 師:埼玉労働局雇用環境・均等部指導課 指導課長 朝長 亮一郎氏

昨年4月から育児休業法が改正され、「産後パパ育休制度」の創設や、育休取得に対し経済的な支援もスタートしています。また、埼玉県では「パパの育休取得ガイド」を一昨年に作成し、育休取得を呼びかけています。

パネルディスカッションでは、埼玉県議会やさいたま市議会での育児休業制度の有無や取得の状況、子育ての分担や休暇の取得に関して、夫婦で話し合って決めた決め事などを報告いただきました。また、男性の育休取得推進に向けて、今後の有効な施策について議論をおこないました。

パネル
ディスカッション

パネラー:埼玉労働局雇用環境・均等部指導課 指導課長 朝長 亮一郎氏
埼玉県議会議員 町田 皇介氏
さいたま市議会議員 三神 尊志氏



D分科会 テーマ:「河川から考える海洋プラスチックごみ問題」
～河川ごみの輸送状況とマイクロプラスチック汚染の実態～
講 師:東京理科大学 理工学部 土木工学科 二瓶 泰雄氏

講演は「身近なプラスチック汚染の状況」や「国内外の動向」、「自分たちが今からできること」などについて、クイズを交えて進められました。

パネルディスカッションでは、河川整備など「川の国埼玉」をめざした県の取り組み状況と「SAITAMAリバーサポーターズ」(通称:リバサポ)の展開、ボランティアによる川ゴミ回収活動などが紹介され、私たちがやるべきことと、政策課題について意見が交わされました。

パネル
ディスカッション

パネラー:東京理科大学 理工学部 土木工学科 二瓶 泰雄氏
埼玉県 環境部水環境課 浄化槽・豊かな川づくり担当 井上 昌樹氏
埼玉県 県土整備部河川環境課 河川環境担当 石野 剛史氏
草加市議会議員 矢部 正平氏



全員の方が声掛けを実践し、組織拡大を!

オルガナイザー研修会(養成・実践)

連合埼玉の組織拡大を推進するオルガナイザーの育成を目的として「オルガナイザー研修」養成編を5月23日(火)、実践編を6月19日(月)ともに、ときわ会館大ホールで開催しました。構成組織や地域協議会、連合埼玉のアドバイザーなど合計で養成編に21名、実践編には15名が参加しました。



開会挨拶をする近藤会長



松永中央オルガナイザー

養成編では、連合本部の松永中央オルガナイザーより、連合が2020年10月に策定した「連合組織拡大プラン2030」から2年半経過するが、この間新型コロナウイルス感染拡大の影響で当初の予定どおり進んでいないことや、役員改選で新たな役員が就任していることなどから、改めて「連合組織拡大プラン2030」の概要について講義いただきました。

また、連合がめざす組合づくりとして、①大多数の労働者が組織する「持続可能な労働組合」であること、②「健全な労使関係」の構築、③「民主的で自立した組合運営」とすることで、働きやすい職場づくりと企業・産業の健全な発展を目的とすることなどの講義がありました。

組織拡大の進め方として、①一般の未組織企業、②関係子会社や関連会社、③企業内未組織労働者など、それぞれの組織化の取り組み手順などの講義もありました。

第2部の講義として、連合埼玉相坂アドバイザーより、2022年3月に受けた労働相談ダイヤルから組織化した村上朝日製麺所の労働組合設立について事例発表がありました。労働法を知らない会社側と従業員のために、文字通り一から労働法や組合について勉強会を始めて2022年7月に組合を立ち上げ、さらにその後



相坂アドバイザー

もフォローしながら組合活動や会社との交渉を継続しているとの報告がありました。

実践編では、養成編に引き続き連合本部の松永中央オルガナイザーを招き、組織強化の観点から「再雇用者の組織化」というテーマで、執行部として「職場説明会」で組合員の理解を得られるかどうか、という場面を設定しロールプレイングを実施しました。



執行部と組合員に分かれてロールプレイング

執行部側の説明として

- ・再雇用者は、以前は組合員であるが現在は1年契約を更新している。一部の再雇用者からは、現役のときから賃金は減額されたが仕事の質や量は変わらないという不満がある。

組合員の執行部への意見として

- ・面倒な先輩たちが入ったら、組合活動がやりにくくなるのではないか。
- ・契約が更新されない場合、再雇用者の雇用を守ると約束できるのか。

といった意見のやり取りがありました。

受講生からは「ロールプレイは生々しく実体験に結び付きやすくて良かった」「所属組合では再雇用者の組織化はまだできていないが、今後の取り組みとしてよい機会となりました」などの感想をいただきました。

最後に高井副会長から「ぜひこの秋までに全員の方が声掛けを実践し、組織拡大に繋げて欲しい」という閉会挨拶を受けて、オルガナイザー研修を終了しました。



高井副会長

連合:2023春季生活闘争 第6回回答集計結果【抜粋】(6月5日現在)

連合は6月1日(木)、2023春季生活闘争 第6回回答集計結果を公表しました。

【概要】

- 月例賃金改善(定昇維持含む)を要求した 5,362 組合中 4,586 組合が妥結済み(85.5%)。うち 2,616 組合(57.0%)が賃金改善分を獲得している。
 - 平均賃金方式で回答を引き出した 4,475 組合の「定昇相当込み賃上げ計」の加重平均は 10,807 円・3.66%(昨年同時期比4,758円増・1.57 ポイント増)となった。
 - 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ額は、加重平均で時給 52.78 円(昨年同時期比29.03 円増)・月給 6,982 円(昨年同時期比2,993 円増)、引上げ率はそれぞれ 5.01%・3.24%となり、時給は一般組合員(平均賃金方式)を上回った。
- ※回答集計結果は、連合HPならびに連合埼玉HPに掲載しておりますので、ご確認ください。

1. 賃上げ <第6回回答集計結果(6月5日公表)>

平均賃金方式(集計組合員数による加重平均)

平均賃金方式	2023回答 (2023年6月5日公表)			昨年対比	2022回答 (2022年6月3日公表)		
	集計組合数	定昇相当込み賃上げ計			集計組合数	定昇相当込み賃上げ計	
	集計組合員数	額	率		集計組合員数	額	率
	4,475 組合 2,729,728 人	10,807 円	3.66 %	4,758円 1.57 ポイント	4,331 組合 2,584,591 人	6,049 円	2.09 %
300人未満 計	3,144 組合 308,148 人	8,328 円	3.36 %	3,471円 1.39 ポイント	3,078 組合 295,441 人	4,857 円	1.97 %
~99人	1,857 組合 79,661 人	7,167 円	3.10 %	2,769円 1.21 ポイント	1,846 組合 75,313 人	4,398 円	1.89 %
100~299人	1,287 組合 228,487 人	8,748 円	3.45 %	3,728円 1.46 ポイント	1,232 組合 220,128 人	5,020 円	1.99 %
300人以上 計	1,331 組合 2,421,580 人	11,147 円	3.69 %	4,933円 1.59 ポイント	1,253 組合 2,289,150 人	6,214 円	2.10 %
300~999人	885 組合 475,020 人	9,647 円	3.53 %	4,232円 1.53 ポイント	818 組合 442,667 人	5,415 円	2.00 %
1,000人~	446 組合 1,946,560 人	11,519 円	3.73 %	5,104円 1.60 ポイント	435 組合 1,846,483 人	6,415 円	2.13 %

※2023年と2022年で集計対象組合が異なるため、「定昇相当込み賃上げ計」の昨年対比は整合しない。

2. 有期・短時間・契約等労働者の賃上げ <第6回回答集計結果(6月5日公表)>

時給	2023回答 (2023年6月5日公表)			昨年対比	2022回答 (2022年6月3日公表)		
	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)		集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	平均時給 (参考値)
単純平均	373 組合	39.53 円	1,094.11 円	17.38円	287 組合	22.15 円	1,064.19 円
加重平均	808,237 人	52.78 円	1,095.65 円	29.03円	712,106 人	23.75 円	1,048.50 円
月給	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)	昨年対比	集計組合数 集計組合員数	賃上げ額	率 (参考値)
	単純平均	132 組合	6,703 円	3.11 %	2,966円	102 組合	3,737 円
加重平均	28,256 人	6,982 円	3.24 %	2,993円	27,732 人	3,989 円	1.85 %

青年委員会が「国会と領土・主権展示館」を見学 青年層の政治・社会への関心を深める

5月26日(金)、青年委員会幹事と構成組織からの参加者計14名は、青年層の政治・社会への関心を深めることを目的に国会を訪れ、連合埼玉推薦議員との意見交換をおこないました。

この日は熊谷裕人参議院議員の本会議における代表質問の様子と、衆議院予算委員会での野党議員と岸田首相とのやり取りを傍聴することができました。本会議場も予算委員会室もテレビで見ると狭い印象で、目の前で政治が動いていることを実感しました。

衆議院第一議員会館における意見交換では、衆参8名の議員に参加いただき、青年層からの質問に真摯に対応していただきました。

更には、熊谷参議院議員の執務室を表敬訪問しました。「代表質問の原稿作成で資料が散乱している」と恐縮していましたが、その分リアルな仕事ぶりを垣間見ることができました。

その後、領土問題に関する国際的な緊張感が高まる中、わが国の将来を担う若者が、国の領土・主権に関する事実や国の立場を正しく理解するために、領土・主権展示館を訪れました。

北方領土・竹島・尖閣諸島は一度も他の国の領土になったことのない日本固有の領土です。その事実について歴史を振り返りながら、日本が領有する根拠、日本の考え方について理解を深めました。



衆議院第一議員会館にて



意見交換の様子



参加者一同

2023「平和集会」

戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、次世代に継承する

5月27日(土)、戦争の悲惨さと平和の尊さを学び、次世代に継承することを目的として、構成組織の組合員とその家族を含め58名の参加のもと、平和集会を開催しました。今回は埼玉県内の平和や戦争について学ぶ施設である「埼玉ピースミュージアム」と2020年に開館した「桶川飛行学校平和祈念館」を巡るバスツアーを5年ぶりに開催しました。

埼玉ピースミュージアムでは、開講式に続き「戦時中のある一日」を疑似体験したのち、講堂において証言ビデオ「北の海からの奇跡の生還」を鑑賞しました。その後は各自で館内を自由に見学し、防空壕や食事など戦時下の状況を知ること、平和で自由な国で生活することの幸福を実感しました。

桶川飛行学校平和祈念館では、2班に分かれ、学芸員から飛行学校が作られた経緯や当時の1日の過ごし方、訓練の様子などを詳しく説明していただきました。

初めて訪問した方も多く、アンケートには「身近にこのような施設があることを知りませんでした。説明を聞いてとても勉強になりました」「子どもたちも戦争は怖いという感想を持つことができました」「改めて戦争の悲惨さを感じた。特攻という理不尽な作戦で、命を落とされた方々の無念を思うとやりきれなくなります」など、現下の世界情勢を考えたとき、「平和への想い」を強く持っていただきました。

こうした思いを沖縄・広島・長崎・根室の平和行動へと繋いでいきます。



1班参加者



ピースミュージアム開講式



桶川飛行学校平和祈念館にて



2班参加者

メンタルヘルス研修会(応用編)を開催

5月30日(火)あけぼのビルにて、メンタルヘルス研修会(応用編)を開催しました。今回の開催では、28名に参加いただきました。

冒頭、労働政策委員会委員長の二階堂副会長より「新型コロナウイルス感染症などの影響により、私たちの働き方や生活が大きく変化し、それに伴いメンタル不調につながっているともいわれている。メンタル不調については、解決に向けて、労使ともに取り組んでいく必要がある。また、メンタル不調の要因の一つでもあるハラスメントに対しては、法整備も進んでいる。今回は、パワーハラスメントつながる可能性もある、アンガー(怒り)について学び、参加いただいた皆さんのみならず、職場へも波及させ、労使一体となった取り組みにつなげていただきたい」と挨拶がありました。



二階堂副会長

その後、日本アンガーマネジメント協会のプロフェッショナルインストラクターである藤田 作樹氏より「パワハラ防止のためのアンガーマネジメント研修」と題し講義をおこないました。講義では、怒りとパワーハラスメントの関係性について調査結果が共有されました。また、私たちが怒らせる正体は「〇〇はこうあるべき」という考えであることが説明され、怒りを感じた時の対処として、①6秒待つ、②怒りを感じた温度(レベル)を考えるなどが紹介され、最近感じた怒りを他の参加者と話し合うなどのグループワークを交えながら学びました。最後には「上手な叱り方」について悪い叱り方の態度やNGワードを紹介し、講義は終了しました。

2022年度の連合埼玉では、9月12日(火)にメンタルヘルス研修会(基礎編)を開催します。



講師: 藤田 作樹氏

女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)を開催!

～ 女性が労働組合で輝くために ～



女性委員会では、6月14日(水)「女性のためのSTEP UPセミナー(初級編)」を、ときわ会館にて開催しました。構成組織からの参加者および幹事・事務局を合わせ、26名の方に参加いただきました。

冒頭、藤井女性委員会委員長から「本セミナーをつうじて人と人とのつながりを大切にしていきたい」とあいさつがあり、その後、連合埼玉を代表し、平尾事務局長より「この場で学んだことが単組での活動の糧となるよう期待しているや、セミナーの開催趣旨」が紹介されました。

前半は、日本カウンセラー協会 林講師より「傾聴を楽しく学ぶ」と題して講演をいただきました。講演は、組合員としての必要なコミュニケーションスキルを学ぶことを目的とし、話し手と聴き手を実際に体験する演習を交えた内容となり、参加者は、演習でのコミュ

ニケーションを楽しみながら、傾聴の態度や技法を学ぶことができました。

後半は、「女性が働く上での困りごととその対応」というテーマで、以下の4つの事例についてグループごとに議論をおこないました。

1. 更年期による体調不良への対応は
2. 長期休職からの職場復帰者に対する接し方は
3. 男性の育児休暇・育児のための短時間勤務を取りやすくするためには
4. 職場におけるパワハラの見極めは

グループワークでは、積極的に意見交換がおこなわれ、職場や年齢、立場の異なる参加者の意見から、多くの気づきを得ることができました。

引き続き、女性委員会では、女性組合役員のスキルアップをめざし、中級編、上級編の開催を予定しています。多くの方のご参加をお待ちしております。(記:女性委員会事務局次長 深津 滯)



主催者代表挨拶をする藤井委員長



講演をいただいた 林 久美子氏

既卒3年以内及び34歳以下の若者対象就職面接会

埼玉労働局と共催で開催!

6月15日(木)大宮ソニックシティ地下展示場にて連合埼玉・埼玉労働局共催による「既卒3年以内及び34歳以下の若年者対象」の就職面接会を開催しました。

会場には事前申し込みで500社程度の申し込みの中から抽選された100社(内9社は連合埼玉をつうじ出店)が面接会に参加いただきました。また、会場には154名の求職者が集まりました。

面接会開催に先立ち、埼玉労働局久知良 俊二局長と連合埼玉近藤会長から挨拶がありました。近藤会長からは「連合埼玉では、2021年より、当時新卒者の就職内定率の厳しい状況を踏まえ、雇用の安定・確保と雇用創出に向けた取り組みとして、各構成組織をつうじ新規求人協力を各企業に要請するとともに、埼玉労働局と連携して、既卒3年以内の方を対象に『就職面接会』を開催しました。加えて、就職氷河期世代の皆さんに対しての支援策は様々打ち出されている一方で、その世代以下の方々についての就職支援につきましては、ハローワークでの支援に留まっていることから、より幅を広げての開催と

しました。今後、少子高齢化・人口減少がもたらす労働力不足が大きな課題であることは明らかであり、各企業、優秀な人材を確保、また流出させないための環境整備が不可欠です。本日のこの面接会が、企業側、また参加いただきました皆さんにとって、“有意義な時間だった”と思える充実した面接会になることを祈念します」と挨拶がありました。その後、事務説明があり、面接会がスタートしました。

会場では、求職者の皆さんが積極的に企業ブースに訪問し、企業側の熱心な説明に耳を傾けるとともに、自己アピールを熱心に行っている状況が多く見受けられました。



久知良労働局長



近藤会長

現在予定される7月の日程表です

7月		行事等	
		連合埼玉・事務局	地協・産別・労福協・福祉事業団体・県・上部・外部団体
1日	土		
2日	日		狭山市長選挙告示日
3日	月		
4日	火	第8回四役・執行委員会(10:00～・13:00～・ときわ会館)	越生町長選挙告示日
5日	水	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑤(14:00～・あけぼのビル)	
6日	木	第5回政策・制度委員会(14:00～・あけぼのビル)	秩父地域協議会「第10回幹事会」(18:00～・勤労者福祉センター)
7日	金	埼玉シニア連合「第5回幹事会」「第6回実行委員会」(13:00～・あけぼのビル)	
8日	土	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑥(10:00～・あけぼのビル)	
9日	日		①狭山市長選挙投票日 ②越生町長選挙投票日
10日	月		
11日	火	2023地域活性化フォーラム(大宮ソニックシティ)	
12日	水	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑦(14:00～・あけぼのビル)	
13日	木	女性委員会「女性のためのSTEPUPセミナー(中級編)」(13:30～・あけぼのビル)	①日本郵政グループ労働組合埼玉連絡協議会「第16回定期連絡総会」(13:00～・THE MARK GRAND HOTEL) ②比企地域協議会「第4回幹事会」(18:00～・ポッシュ労働組合)
14日	金	①ネット21「第3回運営委員会」(10:00～・あけぼのビル) ②埼玉公務労協「良い社会をつくる公共サービスを考える7.14埼玉集会」(18:30～・浦和コミュニティセンター)	①埼玉県令和5年度「第1回埼玉の障害者雇用を進める関係機関連携会議」(10:00～・県民健康センター) ②北方領土埼玉県民会議「第1回役員会・総会」(15:30～・ロイヤルパインズホテル浦和) ③県央地域協議会「第6回幹事会」(18:30～・ろうきん上尾支店)
15日	土	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑧(10:00～・あけぼのビル)	
16日	日		
17日	月		
18日	火		退職者連合「第27回定期総会」(9:30～・連合会館)
19日	水		退職者連合「2023年度全国組織代表者会議」(13:30～・連合会館)
20日	木		埼玉県知事選挙告示日
21日	金		埼玉県交運労協「30周年レセプション」(17:00～・ベルヴィ大宮パレスホテル)
22日	土	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑨(10:00～・あけぼのビル)	
23日	日		
24日	月		
25日	火		
26日	水	組合役員教育プログラム・スキルアップ講座⑩(14:00～)	①埼玉労福協「第2回地域代表者会議」(13:30～・ときわ会館) ②埼玉労福協「第2回政策制度会議」(15:30～・ときわ会館)
27日	木		①連合「全国最低賃金担当者会議」(15:00～・WEB開催) ②熊谷・深谷・寄居地域協議会「第5回幹事会」(18:15～・秩父鉄道労働組合会館)
28日	金		
29日	土		
30日	日		
31日	月		



<はじめに>

7月に入って、新型コロナウイルス感染症の5類への移行もあり、4年ぶりに、行動制限のない夏を迎えることになります。

夏休みを迎える子ども達にとっても、感染症、熱中症に注意しながら、ご家族、ご友人などで「夏の思い出づくり」を楽しんでいただきたいと思います。

さて、4年ぶりと言えば、今年の夏は、埼玉県知事選挙があります。7月20日(木)告示、8月6日(日)投開票日となっています。

連合埼玉は、6月の執行委員会で、埼玉県知事選挙、大野元裕候補予定者の推薦確認をおこないました。

この直近の4年間は、大野県政に対して、政策・制度要請をおこない、2022年度(昨年度)は、9分野41項目の要請をおこないました。

そして、連合埼玉では、県要請に対する県回答を受け、その回答の内容を確認し、次年度につなげるために評価をおこない、連合埼玉HPに公開しました。ぜひ、ご確認頂きたいと思います。

改めて、私たちの政策・制度要請の重要性を紐解きながら、いくつかの政策・制度の実現力への課題について、触れたいと思います。

<政策・制度要請の重要性>

私たちの政策・制度要請は、連合結成の大きな目的の一つでもあります。そして、私たちが暮らす地域社会の発展と安定において非常に重要な役割を果たしています。

1つ目は、地域社会の課題や問題を解決するための手段となります。私たちが地域で生活している中では、たとえば教育や医療、生活環境や安全など、さまざまな生活課題を政策・制度をつうじて問題解決をおこなうことができます。

2つ目は、地域社会の秩序と安定を維持するために不可欠な役割を果たします。政策・制度要請により、議会をつうじて法律や規制、制度を作ることができます。そのことによって、地域社会のルールや秩序が確立され、公正な社会関係が促進されます。

3つ目は、地域で暮らす住民全体の利益を考慮しながら、均等な機会や公正なサービス提供をおこなう必要があります。私たちの要請をきっかけに、地域社会の持続可能な社会に寄与します。

4つ目は、今回のコロナ禍への対応もそうですが、急な環境変化やデジタル技術の進歩、そして人口減少社会への対応など、社会は絶えず変化しています。このような社会変化に対応するために、政策・制度要請をつうじて、柔軟な枠

組みや規制を提供する役割を果たします。

したがって、私たちの政策・制度要請の重要性は、社会の課題解決や秩序維持、適正な公共サービスの提供、社会変化への対応など、重要な役割を果たします。

<政策・制度の実現力>

政策・制度を要請しただけでは、地域社会の課題解決になりません。したがって、政策・制度の実現力が、大変重要になります。しかしながら、要請すれば必ず実現するものでもありません。2022年度では、県回答へ完了と評価した項目は、41項目中2項目となっています。

その上で、政策・制度の実現力を高めるためには、いくつかの課題も見えてきています。

一番、影響力が大きいのは、政治的な意思決定が重要になります。そのためには、私たちの政策・制度の要請の声を聞き、国政や地方議会の場で意見要請をおこなう議員の役割が重要であり、政策・制度の実現力を高めます。

また、それぞれの政策・制度要請は、国、県、市町村ごとに解決できる課題に違いがあります。その課題は相互に連携している部分もあり、国、県、市町村の役割ごとに確認しながら、推薦議員を含めた関係者との協力や対話をつうじて課題を解決することが、政策・制度の実現力につながります。



ふじみ野市「福岡河岸記念館」

<江戸時代の交通政策>

ふじみ野市に福岡河岸記念館があります。江戸時代から昭和初期まで、新河岸川の江戸と川越の間の舟運の船問屋の様子を再現した記念館になっています。

また、新河岸川の舟運は、江戸時代に川越の喜多院や仙波東照宮再建のための資材を江戸から新河岸川を使って運び込んだのが始まりとされています。

現在の鉄道や車での物流が発達するまでは、多くの荷物を運ぶ重要な物流の要だったようです。

河川を利用して荷物を運ぶためには、1年中安定した水量と水流が必要になります。

そのために、重要な水路である新河岸川は、舟の運行に適するように伊佐沼から水を引き、多くの屈曲をつけ、水量を保持し、水流を安定させるなどの改修をおこなっていました。まさに、江戸時代の交通政策と言えます。

政策・制度の実現には、いつの時代も地域で暮らす人々の思いが結実した結果となります。私たちの政策・制度要請についても、その重要性を認識しながら、政治的なつながりも重視した取り組みをおこなっていきたい。

2023.6.19